

ナンバリング	科目名		サブタイトル	担当教員	配当年学期	単位数
212BT06	自動車交通論		現代運行管理を中心に	鹿住 良人	2年次前期	2
科目区分	専門	キーワード	旅客自動車運送 運行管理 安全運行 公共交通 ライドシェア			
ディプロマポリシーとの対応	2. 交通産業および関連分野での基礎能力（技術・理論）を有し、関連分野で活躍可能な能力					
カリキュラムポリシーとの対応	1. 一般教養および専門的（交通・観光関係）な知識と実践力とを総合的に身につける 2. 交通産業および関連分野で活躍するための基礎能力（技術・理論）を身につける					
事前に受講するとよい科目	交通概論、鉄道基礎、鉄道工学、鉄道数学、交通英語入門、交通英語、鉄道システム論					
オフィスアワー	授業終了後、次の授業に支障がない範囲で教室内にて対応します。					
教員への連絡方法	教員の短大メールアドレス					
講義の目的	トラック、バス、タクシーなど自動車による輸送手段は広く普及し、人々の暮らしや経済活動の多くの役割を担っています。それに伴い交通事故多発が社会問題化し、安全への取組みが重要になりました。近年においても観光バスや観光船の重大事故により、運行管理のあり方が議論となりました。「安全」のために事業者はどうすべきか。自動車交通を中心にこれまでの事例を踏まえて考察します。					
到達目標	社会で起きている自動車にまつわる事象を検証し、その原因や課題について議論できるようになることを目的とします。また、運行管理者資格（旅客）の取得にもつながるよう、関連法規や実務的な知識を習得することを目標とします。					
講義内容	① 運行管理の実際について説明。 ② 運行管理者資格試験の科目である各法律について説明。 ③ 運行管理者資格試験の対策。 ④バス、タクシーなど交通に関連したニュース、報道をもとに実社会での関わりを解説。 ⑤パワーポイントや映像を用いた講義形式					
講義スケジュール		タイトル	内容			
	第1講	オリエンテーション	授業概要や運営方法等の説明			
	第2講	運行管理とは	事故事例をもとに重要性を解説			
	第3講	道路運送法（1）	運転者の選任、事故報告			
	第4講	道路運送法（2）	過労運転の防止、点呼、乗務員台帳・乗務員証			
	第5講	道路運送法（3）	運行管理者の業務、事業者の管理義務			
	第6講	道路運送車両法	車両法の目的、登録制度、検査制度、点検・整備			
	第7講	道路交通法（1）	道路交通法の目的、道路交通法における車両とは			
	第8講	道路交通法（2）	通行方法、駐停車禁止、追い越し禁止場所			
	第9講	道路交通法（3）	道路標識、徐行、運転者の遵守事項			
	第10講	事例研究	ライドシェア最新動向、その他映像視聴、小レポート			
	第11講	労働基準法（1）	総則その1			
	第12講	労働基準法（2）	総則その2、就業規則			
	第13講	労働基準法（3）	改善基準1 バス			
	第14講	労働基準法（4）	改善基準2 タクシー			
第15講	まとめ	総括と指針				
指導方法	パワーポイントや映像を用いた講義形式を基本とし、理解度確認のため小テストも行います。授業の中で随時質問をしますので、それに対し積極的に発言することが求められます。そうすることで関心を深めて頂き、学習の定着を図ります。					
事前学習	新聞・ニュースで取り上げられていることや最近の事象の中で、講座に関連する内容を事前に調べ、キーワードの理解と疑問点の確認をしてから授業に臨むことにより、学習内容がより深く記憶に残ります。学習時間の目安：1時間30分					
事後学習	授業内容を整理し、参考資料等で周辺事項を含めて再度確認することで知識が定着します。運行管理者試験の過去問題の関連項目をあたってみることを推奨。学習時間の目安：1時間30分					
成績評価方法	本試験の結果と平常点評価を総合して行います。 本試験（筆記試験）70% 平常点（授業内課題）30%					
課題（試験・レポート）に対するフィードバックの方法	授業の冒頭で前回講義小テストの解説。同時に、Classroomにも内容掲載。					
テキスト	なし。必要な資料は配布します。					
参考文献	独立行政法人自動車事故対策機構『運行管理者基礎講習用テキスト本編』2025年 秋山義継著『現代交通論』創成社2006年 秋山義継編著『地域振興論』創成社2017年					
実務家教員による授業	○	教員経歴	平成19年より 株式会社かすみ交通 代表取締役			
特記事項						